

岩手大学 工学部 情報工学科 情報機器学講座

岩手大学は、現在農学部、工学部、教育学部および人文社会科学部の4学部から構成されています。この岩手大学は盛岡市内の北に位置し、昔は田畑が散在する場所であったとか、今では住宅が立ち並び環境も悪くなってきたようです。その中でも工学部は、国道46号線を挟んで大学内の北にあります。そして、情報工学科は、工学部の中でも一番高い5階建の建物であり、わが情報機器学講座はその5階にあります。ここからは、非常に見晴らしがよく、遠く山々を眺めることができます。特に岩手県の代表の山である岩手山、姫神山などが一望できます。雪をいただいた岩手山は、非常に神々しく、富士山のようにそびえ立っています。さらに、盛岡駅から車庫に入る新幹線の姿も見ることができます。したがって、こんなに環境がよいところで研究ができれば、非常に幸せな気分になります。

情報工学科は現在8人（教授3人、助教授4人、助手1人）で構成されており、各教官の研究は独立であり、それぞれ次のような研究テーマで各界でがんばっておられます。

- * パソコンによる回路解析プログラムの開発
- * 3次元並列画像処理計算機の開発
- * リモートセンシング画像処理
- * 計測処理機能をもつ汎用画像処理装置の開発
- * 音声認識に関する研究
- * 剰余数演算回路に関する研究

* 計算機アーキテクチャに関する研究

したがって、本学科の教官の研究は、理論研究よりむしろ応用研究が多いようです。また、学生の配属も教官単位で行なっていますが、昨年度リモートセンシングデータ解析室ができ、新しく三菱の計算機MX-3000が入ったのでその講座の担当教官の人気の高いようです。

わが講座の教授の先生は剰余数にもとづく演算回路の設計を行なっています。私は、待ち行列システムを用いて計算機網および新しい計算機アーキテクチャの理論解析を行なっています。いま現在私はループ状に接続されたシフトレジスタに複数の処理要素を接続してデータフロー的に処理を進める Loop Structured Computer の製作と待ち行列システムを用いて理論解析を行なっています。この理論解析では面白い結果が得られましたので、機会があったら発表したいと思います。

岩手大学内でOR会員は、数人しかいなく寂しい感じがします。工学部内では、いまのところ2人だけです。特に情報工学科内では私だけです。したがって、もっと会員を増やしたり、会員同士で研究発表会などを行ない交流を深めたりしたいと思いますが、分野が違ったりしてなかなか進みません。

今後、OR関係、特に待ち行列システム関係で研究を進めていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

(吉岡良雄)

関東学園大学 経済学部

本学は故松平浜子先生が終戦直後の時勢にかんがみ女子高等専門教育の必要を痛感し、昭和21年国文、被服の2科を有する関東女子専門学校として群馬県館林市に開設されたのにはじまる。翌22年英文科が増設され、学制改革により昭和25年現在の関東短期大学と改称された。昭和27年夜間部に初等教育、商経の2科を加え、さらに28年昼間部にも商経科を増設した。昭和33年高等学校が併設された。その後昭和51年4月関東学園大学が開学した。つづいて56年には経済学部経営学科が増設。同時

に大学院経済学研究科（経済学専攻）修士課程が開設された。

本学の建学の精神は、敬和、温順、質実であり、その精神は今日も、教職員、生徒の学園生活の中に脈々と受けつがれており、それが学生の就職にさいしても企業のうけをよくしているようである。現在、教員数は約60数名、学生数は約2300名を擁している。本学は太田市に所在し、東武伊勢崎線細谷駅から徒歩10分足らずのところにある。特に、本年度からは約20数名の教員が増員され

カリキュラムの充実がはかられている。

本学における教育の特色としては以下の3点をあげることができる。

第1は、3・4年の2年間を通じてゼミナールを行ない、研究のみならず教員と学生の密接な人間的なつながりを重視していることである。

第2は、高度情報化社会に対応して情報関連科目が充実していることである。このため本学では特にコンピュータ教育に力を入れており、情報処理関係の設備についても幸いこの4月からIBM4361—L03をホスト・コンピュータとして、またコンピュータ演習室にIBM5540 PCを端末兼オフラインコンピュータとして設置することにより、教育におけるコンピュータ利用環境は格段に改善された。また、文科系大学としてはユニークと思われるコンピュータ教育の実験的試みとして、コンピュータの課程を基礎課程と専門課程の2つに分け、基礎課程は1・2年、経営・経済両学科とも必修とし、IBM5540 PCのオフライン機能を利用し、表計算言語等のノンプログラミング言語を活用して経済分析・経営分析ができる指導を行なっている。また、専門課程では、3・4年選択とし、IBM5540 PCのオンライン機能を利用し、ホスト・コンピュータでCOBOL言語等の実習を通じて将来情報関連企業に進んでも十分対応できる情報処理の知識と技術を習得させることを目標にしている。

教育の特色の第3は、経済社会の構造的変化や国際化時代に対応できる人材の育成である。本学では新しい時代の変化に対応できる幅広い視野をもった人材の育成をめざして専門分野だけにとどまらず、広い分野での知識教養を習得できるようカリキュラムの充実をはかっている。すなわち、官界・実業界出身の教授らを中心とした新しい時代に対応した科目（たとえば「アメリカ経済事情」「都市経済学」等）の新設や、外国人数員による小人数グループの英語・英会話教育等がこれである。

今後とも、北関東の情報化を中心とした地域経済の発展のために必要な人材を多数送り出すことができるよう教職員一丸となって努力していきたい。

（城川俊一）

新時代のコンピュータ総合誌

Computer Today

● 9月号／好評発売中

定価880円

マルチメディア データベース

マルチメディアデータベースとは 増永良文
マルチメディアデータベースの展望

植村俊亮・小島 功

マルチメディアデータベースの技術課題 川越恭二

これからのオフィスと電子ファイリングシステム

弘瀬憲二

—マルチメディアデータベース応用の現場から—

CAD——三菱電機／地図情報——東京ガス

国土情報——国土地理院／医療——東北大学

民族学——国立民族学博物館他

別冊・Computer Today

好評発売中

パーソナルコンピュータのための

1300円

日本語スクリーンエディタの作り方

→ソフト別売

あらゆるパソコンに対応する日本語エディタ

“SSE (Simple Screen Editor)” 初の解説書:

数 理 科 学

10月号予告

定価 880 円

特集＝生物の性と進化

オスはメスを護るべきか

山村 則男

原生生物の性の数と

ヒトの婚姻システム

巖佐 庸

チンパンジーの婚姻システム

長谷川政美

子沢山・少ない母の性比調節

山口 陽子

植物の雌雄性と性転換

木下栄一郎

魚類の雌雄先熟性と婚姻システム

中国 明信

海洋生物の運動と流体力学

大久保 明

自然選択における多様性の

パラドクス

松田 裕之

性と組換えの進化的意義

佐々木 顕

生物の長期適応戦略

松田 博嗣

〈連載〉電磁気学を考える⑪

今井 功

数理科学・別冊

好評発売中

形・フラクタル ソリトン

定価2,000円

定価2,000円

サイエンス社

東京都千代田区神田須田町2-4 安部徳ビル

☎03(256)1091 振替 東京7-2387